



広島駅南口広場再整備

元新聞記者の視点で地域の課題をピックアップします



広島市より

具体的には、①新駅ビルの路面電車のルート再編と広島駅への乗り入れ③南口をペDESTリアンデッキで結ぶ

デッキで結び、回遊性を高めめます。新駅ビルと路面電車、周辺施設との連携により集客力が高まるのが期待され、

「紙屋町・八丁堀」一強とも言える広島都心部の勢力図に変動が生じると予想されます。

広島市は当初、中央図書館の移転先に「エールエールA館」を視野に入れています。

5 その他

平和記念式典関係

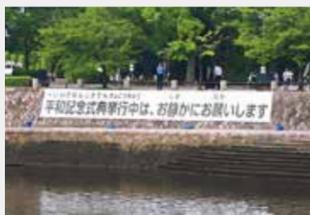
2026年予算特別委員会質疑、政策立案検討会議で協議、平和記念式典挙行中のデモ団体による騒音は10年来の問題となっています。

結果

デモ騒音は広島市だけの問題ではありません。市議会で質疑するだけではなく、ネットニュースやブログなども通じ、全国的に問題提起を行ってきました。

課題

「平和推進基本条例」が施行されて以降もデモ騒音は問題として残っています。多くの人がこの問題を知っていただき、1年も早い解決を迎えなければなりません。



元安川に掲げられた横断幕

地域猫活動

2026年12月 報告書

地域猫活動とは、地域住民らが野良猫に去勢・避妊手術を行うなど適切な管理を行い、野良猫の数を減らしていく取り組みです。

結果

22年度から、従来の町内会・自治会に加え、数名の任意団体も参加できるようになり、去勢・避妊手術を広島市内の民間獣医師にも委託できるようになり、1か月間におよぶ手術待ちの状態の改善も進みました。

課題

地域猫活動は色々な誤解があり、地域住民とのトラブルに発展することもあり得ます。活動の理解度を深めることが求められています。

特別自治市制度関係

現在、地方行政は国・道府県・市町村(政令市含む)という二重構造となっています。

4 カラーバリアフリーの促進

チヨークの導入について

色覚特性を持つ人は、男性が20人に1人、女性は500人に1人、また女性の10人に1人が保因者とされています。



色覚に配慮したチヨークを使用しているか

課題

2003年度から色覚検査が必須ではなくなったままになっています。これは、色覚特性に気付けない児童生徒が、人知れず様々なケースで困難を強いられています。

結果

色覚特性を持つ人は、男性が20人に1人、女性は500人に1人、また女性の10人に1人が保因者とされています。広島市立学校におけるカラーバリアフリーの取り組みとして、色弱者も識別しやすいチヨークの導入促進を提案しました。

ハザードマップのカラーバリアフリー化の促進

「ハザードマップ」は、各自治体などが発行し、その多くは、危険性を色の濃淡で表現しています。色弱者は色の差異に加え、濃淡の識別も苦手にするケースが多いといえます。

結果

浸水のハザードマップでは、地図上に危険度を文字で表記することで識別性を向上させました。また、土砂災害のハザードマップでは、過剰な情報を取捨選択し、視認性を高めました。

課題

色覚特性は多種多様です。最大限に効果を発揮できるハザードマップを作るには、カラーバリアフリーへの興味関心をより一層抱いてもらうことが欠かせません。

課題

ウイルス対策において、政令市の現場力と実務力は発揮できませんでした。市民益を最優先で考えた時、こうしたデメリットを解消する必要があります。

結果

広島市は「特別自治市」制度を自指すと明示しました。また、新型コロナウイルス対策で政令市の役割が極めて大きくなる中、権限が知事に集中しており、政令市は柔軟的、機動的な対策が難しいことなどから、二重行政の解消には「特別自治市」制度が有効であるとのスタンスを示したのです。

課題

「特別自治市」制度は、法律化されて初めて導入されるものです。つまり、国会が動く必要があります。20ある政令市が足並みをそろえて必要性を説き、国民の理解を得ることが求められています。

PICK UP コラム



図書館移転について

広島市は、中央図書館等の再整備に取り組んでいます。このほど、図書館に必要な機能などを盛り込んだ「再整備方針」を策定し、12月中旬には、中央図書館の再整備地の候補として、広島駅南口の商業施設「エールエールA館」を示しました。

実は、図書館移転の議論は紆余曲折を経ていきます。今年2月、広島市が中央図書館等を「エールエールA館」に移転させる案を示したことにに対して様々な意見が噴出したことが発端となり、改めて市議会や市民、有識者などから意見を聞いた上で、再整備方針を踏まえて整備地を決めることになったのです。

広島市は、中央図書館を広島駅南口に移転する理由について、交通の利便性を挙げています。広島駅南口では、2025年春の駅ビルや路面電車の駅前大橋ルート開業に向け、大規模な再整備が進行中です(詳細はP5を参照ください)。



広島市HPより



南口の再整備が完了すれば、紙屋町・八丁堀に加えて広島駅周辺にも都心部の核ができ、人の流れが大きく変化する可能性が高くなります。中央図書館移転の議論ではこうした

むくぎ 太一事務所

〒731-0138 広島市安佐南区祇園1丁目4-5 TEL (082) 846-5450 / FAX (082) 846-5451

プロフィール

棕木 太一(むくぎ たいち) 1975年(昭和50年)7月28日生 広島市安佐南区出身 元読売新聞記者 自由民主党安佐南支部長 広島県立安古市高校、早稲田大学政治経済学部卒業 安心社会づくり対策特別委員会、市議会総務副委員長



【Twitter】



【Instagram】



【Facebook】



【公式 HP】

公式HPの活動報告から会報誌をダウンロードしてお読みいただけます。この市政報告は、自由民主党・市民クラブの承認を得て発行しています。

新聞 Vol.14



広島市議会議員 むくぎ 太一



- む ずかしいことも、
- む き合う、
- む くぎ太一。



私は、5つの政策を柱としています。広島市議会議員としての任期が半年を切りました。これまでの取り組みと今後の課題を5つの政策に関してまとめました。

### 5つの政策

1. 子育て支援・人材育成
2. 道路などのインフラ整備を推進
3. 防災・減災
4. 「カラーバリアフリー」の推進
5. 広島市政改革・メディア戦略

### 1 子育て支援・人材育成

#### 〈子育て支援〉

#### 妊娠包括支援

「産前・産後サポート」「産後ケア」「産後ヘルパー派遣」の妊娠包括支援に関する3事業について、利用対象者(母親)が「産後8週(2か月)」までで他の政令市に比べても期間が短く利用しづらいことから、子育て環境改善のため、対象期間延長を提案しました。

#### 結果

「産前・産後サポート」が産後1年以内、「産後ケア」は産後4か月までに延長されました。産褥期に感じる心身の負担を少しでも軽減でき、児童虐待や産後うつ

#### 課題

の抑制につながればと思います。

### 2 道路などのインフラ整備

#### 都市計画道路関係

#### 「西原山本線」

JR下祇園駅北側の「祇園踏切」から国道183号の「西原5丁目(南)交差点」まで、東西約400メートルをつなぐ区間の整備について質疑しました。この区間は西原山本線の一部として計画決定していますが、数十年間、未着手の状態となっています。JR下祇園駅の再整備に併せて、祇園踏切以西を26年度までに拡幅完了させます(アクセス線)。つまり、西原山本線は、長束八木線と交わる「祇園4丁目交差点」以東は、この約400メートルを残して完成することになります。幹線道路としての効果や機能を最大限に高めるためには、未着手区間の早期完成が求められるのです。



赤線が長束八木線で、青線が西原山本線/広島市計画総括図より抜粋

### 3 防災・減災

#### 消防団の活性化対策

火事や土砂崩れなどの災害時に現場で救援補助などにあたる消防団員は、近年災害の頻発化、甚大化に伴い、その存在意義が高まっています。一方で、地域コミュニティの希薄化もあり、消防団員の確保が喫緊の課題となっています。そうした背景から、居住地だけでなく勤務地や通学地の消防団で活動しやすく柔軟に対応するよう提案しました。

#### 結果

「消防団協力事業所」認定制度の活用を促進させることで、日中の時間帯に消防団員として活動する人員を増やすことになりました。



ポンプ操法大会に臨むむくぎ太一

のケアなども含めて、一連の流れであることを家族や周囲の人々にも知っていたり、周囲の理解が不可欠です。今後、産後ケアなどの啓発や体験促進に関する施策を提案していきたいと思っています。

### 大規模小学校の過密化防止・適正化対策

児童数1000人超の大規模小学校の過密化を抑え、適正規模にする対策の一環として、隣接小学校での受け入れを柔軟にするよう提案しました。

#### 結果

居住地の小学校から別の小学校に入学するための変更許可基準に、隣接校に入学したいためという項目が新設されました。祇園、山本、春日野川内、伴井口の6校が大規模校に指定され、21年度の新生児から新基準が適用されました。

指定小学校	入学できる小学校
祇園・山本 春日野	三篠・己斐・古市・大町 安・安西・長束・原・伴東 大塚
川内	緑井・中筋・古市・梅林 口田東・口田
伴	安北・安西・伴東・大塚 伴南・石内・藤の木
井口	鈴が峰・井口明神 井口台・五日市東 五日市南

小学校の表記は省略



2022年2月定例会議で総括質問するむくぎ太一

21年決算特別委員会で、広島市から「アクセス線の整備に引き続き整備に取り組み」旨の答弁を引き出しました。そして、2022年度、広島市の公式文書に初めて、この区間の「整備」という記載がなされました。

#### 課題

「開かずの扉」が、数十年の時を経て、ようやく動き出したわけですが、完成までには時間を要するところは否めません。ただ、西原山本線の効果を高めるには、一日も早い開通が望まれます。最重要課題の一つに位置付け、働きかけていきます。

#### 結果

「消防団協力事業所」だけでは、夜間や年末年始などの長期休暇中は協力を得ることは難しいのが現状です。さらに、団員の年齢層も高まっており、若年層の取り込みも急務となっています。なかなか特効薬は見いだせませんが、地道な啓発活動などを通じて呼びかけていくことが求められています。

#### 避難所運営

大雨や土砂災害の危険性が高まる中、主に学区単位で避難所が設置されま



避難所が開設される祇園中学校の体育館

す。この避難所は、広島市職員と地域の自主防災組織などが運営に携わっています。災害の危険性がなくなるまで24時間体制にあたりますが、職員やボランティアの皆様は、その間の食事などは各自で用意することになっています。運営者に対する支援体制は万全とは言えないのが実情です。これではいざという時に避難所を守ることは難しくなります。そうしたことから、避難所の運営関係者への支援体制を充実させるよう提案しました。

安佐南区は狭く細い道路が多く通学路対策は欠かせません。広島市は地域住民・団体や警察などと協力し、通学路の安全性向上に努めてきました。

#### 課題

広島市は2年間かけて通学路の点検、安全指導、歩道の設置改善などを行ってまいりましたが、交通マナーなどソフト面の政策も注力する必要があります。

通学路対策	状況	対策
大町小学校区 大町3丁目17の県道押しボタン式交差点	状況 アストラムラインを走る県道の点滅信号交差点で速度を落とさず走る。数年前に青信号で横断中の児童が車と接触する事故が発生	対策 植え込みを剪定し、運転手の視界を良くする。点滅信号の調整で安全性を高めた
毘沙門台小学校区 毘沙門台2丁目のメイン道路	状況 毘沙門台団地のメイン通りで多くの車が高速で走る。スーパー前やガソリンスタンド前で子供と車の事故が発生している	対策 登下校時の安全指導を徹底
川内小学校区 川内小学校正門前から川内1丁目の間	状況 地域の主要道路だが、道幅が狭く、路側帯やガードレール等がない部分も多い。用水路が並行し落水の危険性がある	対策 正門側に路側帯を新設・拡幅。規制標識も設置
東野小学校区 東原3丁目3番から12番の市道	状況 横断歩道の抜け道で車が速度を上げて走るが幅が狭い	対策 横断歩道があることを示す「強調マーク」を路面標示予定
中筋小学校区 中筋1丁目の安佐南区図書館付近の交差点	状況 幹線道路の抜け道で通行量が多い。信号機がない交差点の曲がり角に植え込みがあり視界が悪い	対策 登下校時の安全指導を徹底
長束小学校区 長束5丁目の新声田屋橋付近	状況 道幅が狭く交通量が多い。道路の片側だけ路側帯があるが、一部の電柱が路側帯を塞ぎ、通行の妨げになっている	対策 「減速」と路面標示を加えた
長東西小学校区 長東西1丁目「長東西第一公園」前	状況 道路がカーブして視界が悪い。通勤・通学時は車やバイク、自転車が速度を上げて降りてくる	対策 横断歩道があることを示す「強調マーク」を路面標示した
原南小学校区 西原1丁目の武田山入交差点付近	状況 信号機のない横断歩道と曲がり角が近接し、歩行者と車が接触する危険性が高い	対策 横断歩道手前に「学童注意」を路面標示した
古市小学校区 古市1丁目の旧道	状況 通学のため、やむなく横断歩道のない県道を渡っていた	対策 通学路を変更

【通学路対策の一例】

### JR下祇園駅再整備関係

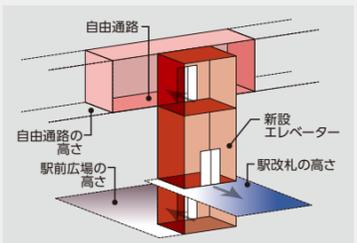
地元の皆様の長年のご努力もあり、下祇園駅の再整備が日を追うごとに進んでいます。23年度末24年春までには、下祇園駅の新駅舎と自由通路の利用が始まります。また、25年度半ばには、西口駅前広場の利用開始も予定されています。数年先には、景色が一変し、多くの人でにぎわうことでしょうか。こうした大事業は、地元や駅利用者の皆様の理解と協力なしには成し遂げられません。ホームや駅舎の工事が始まった20年夏頃から、五月雨式に工事や事業内容などに関する問い合わせが増えました。主な事業者である広島市とJR西日本と住民・利用者とのくさびとなり、「コミュニケーションの円滑化に努めてきました」。

#### 結果

毎月の夜間工事のお知らせのポスターの開始、夜間工事に伴う通行止め時の安全対策(警備員の配置など)、地域



JR下祇園駅完成イメージ



自由通路エレベーターの整備イメージ

善していくことになりました。

#### 課題

子供や妊産婦、高齢者、障害者や持病がある住民の皆様にとって、避難所に身を寄せることはハードルが高いといえます。それ以前に、避難所に行くことが困難なケースがあります。2021年に災害対策基本法が改正され、避難行動要支援者(高齢者や障害者ら)の避難計画の策定が自治体の努力義務となりました。しかし、支援者確保や災害補償、責任の範囲など様々な課題があり、全国的にも策定が進んでいません。避難所の実効性が高まるよう、広島市は率先して国に問題提起する必要があります。

### 河川の監視カメラ設置促進

21年8月の長雨で、安佐南区長束地区では浸水被害が起きました。長雨により太田川の水位が上昇し、その影響で、同地区を流れる新安川の流水が排水管をつたって押し戻され、地上にあふれ出たとみられています。この件以降、広島市とともに浸水対策を検討してきました。

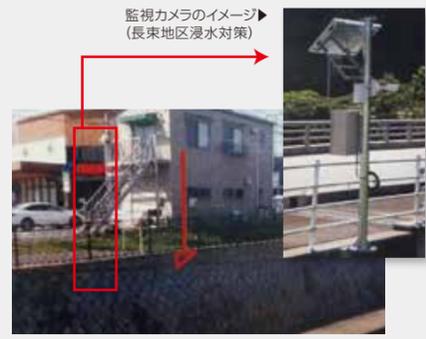
#### 結果

流量を逐次確認することで、人的・物

的被害を最小限に抑えることを目的に、新安川の新声田屋橋付近に監視カメラが設置されました。

#### 課題

監視カメラや堤防といったハード面の整備は、多大な資金と時間を必要とします。生命・身体を守るためには、まず、自分で自分を守るという口頃からの心がけが求められます。つまり、避難所の場所や避難ルート、浸水危険地域、土砂災害警戒区域などを確認したり、非常時の連絡先や持ち出し品などを準備したりしておくことが、防災減災への第一歩だということです。地道なことですが、こうしたことを啓発し続けることが求められていると思います。



監視カメラを設置する新安川の新声田屋橋(長束地区浸水対策)